

プロジェクトマネジメント学会2023年度春季研究発表大会プログラム第1日 (3月9日) 於: ホテル京セラ (鹿児島県霧島市)

時間	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場	第9会場
9:00-	受付								
9:50-10:00	【Opening Ceremony / オープニングセレモニー】会場: 凜 (本館地下2階) 鹿児島県知事 塩田 康一 霧島市長 中重 真一 プロジェクトマネジメント学会会長 小玉 浩 (NEC)								
10:00-11:00	【Key Note 1 / キーノート1】会場: 凜 (本館地下2階) データ活用とエコシステム組成によるスマートシティの社会実装 受川 裕 (日本電気株式会社執行役員 クロスインダストリーユニット長)								
11:00-11:30	休憩								
	佐藤 雅子(日本IBMデジタルサービス)	横山 真一郎(神奈川大学)	野元 拓也(日立ソリューションズ 日本)	松波 大輝(NITデータ)	七田 和典(日本IBM)	木野 泰伸(筑波大学)	石井 知重(日本電気)	片峯 恵一(九州工業大学)	
11:30-12:30	IPMA session  IPMA REB-Research Evaluation Baseline the new IPMA Standard for Research in Project Management Dr. Ronggui Ding (IPMA Vice President for Research)  内容: 調査や研究の何が評価されるのかということに関して何らかの枠組みを決めることは難しいことです。一方で、IPMAが実施している国際表彰の中では一定のルールを持って評価を行っています。研究論文には欧州と米国では視点が異なる評価もあります。IPMAの国際表彰の評価基準は比較的中立な視点で構成されています。PM学会の表彰を足がかりに、国際表彰に挑戦する際の指針になる講演がおこなわれます。	1201 アドラー心理学の導入による顧客志向行動に関する議論の統合 中原あい(文教大学)	1301 大規模インフラプロジェクトにおけるWBSを補完する進捗管理表による進捗管理について 河本慎一郎(日本電気)	1401 OSS信頼性評価のための深層学習に基づく再学習手法の適合性評価 田村慶信(山口大学)	1501 システム基盤のレジリエンス向上に向けた点検手法の確立と評価 船越岳人(富士通)	1601 運用業務改善および自動化におけるスクラム 竹嶋宏亮(キンドリルジャパン)	1701 SFプロトタイプングワークショップにおける発表の分析 峯岸朋弥(筑波大学)	1801 ERPを開発しないで導入する方法の提案 広川敬祐(公立はこだて未来大学大学院)	
		1202 DX推進における管理部門のプロジェクトマネジメント導入の重要性 明石明日香(キンドリルジャパン)	1302 モダナイゼーションの実現における計画段階での考慮点と遂行上の課題に関する考察 五十嵐達也(NECソリューションイノベータ)	1402 パッケージシステム開発における国内外パートナーの共業体制の確立 渡辺祐希(富士通Japan)	1502 現場における「視点活動」の意義に関する考察 佐藤隆広(香川大学)	1602 スクラムチームによる大規模ウォーターフォール開発の実践事例 塚本哲史(日本電気)	1702 大規模モダナイゼーション案件における開発プロセスの立案・推進 山口敦史(日本電気)	1802 出向者の活用によるステークホルダーマネジメントに関する考察 根岸永(日立製作所)	
		1203 福島廃炉プロジェクトのプロジェクトマネジメント問題 吉田憲正(オフィス YOSHIDA)	1303 アジャイル開発の品質確保に向けたマネジメントポイント 山本椋平(日立製作所)	1403 リモートワークにおけるコミュニケーション不全の原因に関する研究 片山結沙(文教大学)	1503 「改善の気づき」を意識したシステム障害予防点検の取組 佐藤慎一(NITデータ)	1603 勝馬予想による論理的思考力向上に関する一検討 木村翔(千葉工業大学)	1703 ローコード開発へのテスト自動化の適用と課題 弓削裕要(日立製作所)	1803 セキュリティ環境の現行踏襲要件におけるスコープマネジメント 生山陽(日立ソリューションズ)	
12:30-13:20	休憩								
		島山 洋(富士通)	田村 慶信(山口大学)	石原 寛紀(日本IBM)	高田 淳司(日本電気)	角 正樹(NITデータユニバーシティ)	臼井 明久(富士通)	高山 公章(日本電気)	下村 道夫(千葉工業大学)
13:20-14:40	IPMA Young Crew session  テーマ: 「IPMAのトップから学ぶグローバル視点のリーダーシップ」  参加対象: 35歳以下の春季研究発表大会参加者  ゲスト: Chairman of the IPMA Council of Delegates Jesus Martinez Almela (IPMA 前会長) IPMA 副会長 Ronggui Ding  内容: IPMAの幹部をゲストとして呼びし、多国籍のメンバーをマネジメントされてきた経験に基づいてリーダーシップについて講演していただきます。グローバルで展開するIPMAのトップだからこそ伝えられる新たな気づきや知見を得る機会とします。また、その後の交流会では同世代の仲間と意見を交わすことで、リーダーシップ向上への意欲につなげていくことを目指します。	1204 自治体DX案件における価値向上のためのマネジメント手法の考察 高島安志(日立システムズ)	1304 ニアショア拠点におけるアジャイル開発事例について 平田修司(日本アイ・ピー・エムデジタルサービス)	1404 オンライン主体の教育を受けた要員を前提とするプロジェクトの考察 平松豪(日本アイ・ピー・エムデジタルサービス)	1504 誤操作防止に資するセキュアなUX環境のリスクアセスメント 関口拓未(千葉工業大学)	1604 大企業のカルチャー変革を加速するオンライン時代の組織横断コミュニケーション 加藤正義(富士通)	1704 AIガバナンスの必要性とリスクマネジメントの要点 鎌木智也(NITデータ)	1804 コロナ禍により変化した病院情報システムのプロジェクトマネージメントの在り方 寺西秀和(NECソリューションイノベータ)	1904 掘っ立て小屋からタワマンへ 種熊博之(キンドリルジャパン)
		1205 DX診断手法の調査と試行 河村智行(慶應義塾大学)	1305 日本企業におけるアジャイル型開発の開発委託契約に関する考察 大貫卓輝(文教大学)	1405 マイグレーション開発における品質保証プロセス 笹野真子(日本電気)	1505 テスト効率化による開発期間短縮の検討 飯田和之(日立製作所)	1605 プロジェクトメンバーだからこそ行える新しいコミュニケーション管理 五領舞衣(日本アイ・ピー・エムデジタルサービス)	1705 上流工程から参画による運用最適化へのアプローチ 遠藤貴芳(富士通エフサス)	1805 仕事と大学院における活動の両立に関する考察 曾根寛喜(日本アイ・ピー・エム)	1905 脱炭素社会の実現に向けた製品別GHG排出量算定と課題 ラナヴィーララヴィンドラサンダルフン(NITデータ)
		1206 金融DXプロジェクトにおける不確実性に対応するアジャイルプラクティスを導入したプロジェクトマネジメント手法の考察 七田和典(日本アイ・ピー・エム)	1306 基盤エンジニアリング企業におけるヒューマンエラー対策の一考察 中島雄作(NITデータ先端技術)	1406 ソフトウェアプロセス教育のプログラムと実施方法の改善に関する一考察 片峯恵一(九州工業大学)	1506 ストレージ予兆監視サービスによる長期安定稼働の実現 児玉直人(富士通)	1606 品質管理におけるバグの定性分析の一部自動化 - バグ報告チェックの機械学習モデルによる代替 菅原康友(NITデータ)	1706 マルチベンダープロジェクトにおける顧客リスクについての一考察 金井武志(日本電気)	1806 システム開発における委託先・再委託先でのリモートワーク課題の改善事例 細谷徹(日本電気)	1906 演劇制作におけるプロジェクトマネジメント 南圭介(サンズエンタテインメント)
		1207 DX時代に求められるプロジェクトマネージャの育成施策 南幸雄(日立製作所)	1307 SIプロセス改革事例についての観察報告 吉枝努(日本電気)	1407 多様な経験とPMOスキル 富田幸延(NITデータ)	1507 システム開発プロジェクトを段階的に実施する際のメリットと考慮すべきリスク 金山尚史(日本アイ・ピー・エム)	1607 技術者の職業生活における不満の特徴 三好きよみ(東京都立産業技術大学院大学)	1707 類似システムにおけるステークホルダーマネジメントに関する一考察 米澤直之(日立製作所)	1807 研修による次世代リーダーの育成について 松村陽子(NITデータソフィア)	
14:40-15:00	休憩								
15:00-17:00	【SPM Award Ceremony】会場: フラワー (別館2階)						春季大会での講演を伴わない表彰者・団体の皆様		
	表彰式 表彰講演(1)学会賞 栗島聡 表彰講演(2)PM実施賞本賞 木脇秀己 表彰講演(3)PM実施賞エクセレントパートナーシップ賞 (取得側) 農林中央金庫、農中情報システム株式会社、(供給側) 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ  「Robogals Kagoshimaの活動紹介」 鹿児島工業高等専門学校・脇田七夏 スペシャルレクチャ 「特徴のある新しい芋焼酎造りへの挑戦」 国分酒造杜氏・安田宣久						名誉会長(フェロー) 河合輝欣 様 プロジェクトマネジメント功労賞 山下徹 様 同 プロジェクトマネジメント学会北海道支部 殿 PM実施賞 富士通Japan株式会社 殿 PM実施賞奨励賞 株式会社日立ソリューションズ・クリエイト 殿 同 日本アイ・ピー・エム株式会社殿		
17:00-17:30	休憩/ネットワーキングへ移動								
17:30-19:00	ネットワーキング 会場: 天雅 (本館地下2階)								

時間	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場	第9会場
9:00-	受付								
10:00-11:00	【Key Note 2 / キーノート2】会場: 凜 (本館地下2階) The hidden face of digitization: how to move forward self-organizations in project management Dr. Jesus Martinez Almela (Chairman of the IPMA Council of Delegates) Self Organization (自己組織化) や Self Organized Team (自己組織化チーム) はコロナ禍や働き方の多様化によって生じた分散作業環境の課題に対する1つの対応です。日本ではあまり活発ではない同議論の興味ある講演です。								
11:00-11:20	休憩								
	小笠原 秀人 (千葉工業大学)	佐藤 慎一 (NTTデータ)	岡 恭佑 (富士通)	宮本 浩志 (日立ソリューションズ西日本)	堀 賢志 (日本電気)	岡本 一真 (富士通)	吉澤 由比 (NTTデータ)	吉津 充晃 (日本IBM)	木野 泰伸 (筑波大学)
11:20-12:40	2108 パッケージSIにおけるテスト自動化による工数低減と品質改善 晦日慶太 (日本電気)	2208 スクラム開発における品質管理とその課題— 自社SaaSサービス開発プロジェクトを事例として— 黒柳友菜人 (日立製作所)	2308 高度IT人材 (プロジェクトマネージャ) の育成制度改定と実践 山田知明 (日本電気)	2408 オープンソースソフトウェア開発プロジェクトにおける改善 - Apache Bigtopプロジェクトからの学び 依田玲央奈 (NTTデータ)	2508 運用業務移管プロジェクトにおけるインセプションデッキの利用事例 小玉寛 (キンドリルジャパン)	2608 リスク管理の阻害要因と対策に関する考察 一柳英史 (日立製作所)	2708 弱い顧客体制時のプロジェクト推進 大久保修 (日立システムズ)	2808 少人数体制のシステムが体制急拡大に伴う体制組成・プロジェクト遂行に関する考察 塚田喬志 (日本電気)	2908 ウェルビーイング時代のプロジェクトマネジメント 野尻一紀 (キンドリルジャパン テクノロジーサービス (研究委員会))
	2109 プロジェクトにおける知識統合と信頼および能力の関係に関する考察 西中美和 (香川大学)	2209 エンタープライズ向けアジャイル基盤におけるマネジメントの考察 桜井貴幸 (NTTデータ)	2309 PMメンタリングの育成効果を高める運営に関する一事例 渡辺由美子 (NTTデータユニバーシティ)	2409 オフショア開発における円滑なコミュニケーションに向けた取り組み 大迫礼佳 (日本アイ・ビー・エム)	2509 エビデンス (ファクト) に基づいたプロジェクトマネジメントのあり方についての考察 宮田剛 (NEC マネジメントパートナー)	2609 国際開発プロジェクトにおけるリスクに関する考察 貝増匠俊 (神戸女子大学)	2709 他社再構築における超上流工程での戦略的リスクヘッジ策 藤田祥平 (富士通)	2809 大規模システム開発プロジェクトにおける品質マネジメントの考察 山田康貴 (日本アイ・ビー・エム)	2909 アジャイルの非ソフトウェア開発分野への適用性に関する一考察 新谷幸弘 (千葉工業大学 (研究委員会))
	2110 サービス運用における脆弱性対策に関する一考察 小境彩子 (NTTデータ先端技術)	2210 公共分野のシステム開発におけるアジャイル適用に関する考察 小野島直子 (日立製作所)	2310 業務部門向けのシステム開発のスキル教育方法 櫻井希 (日本アイ・ビー・エム)	2410 短納期インフラ基盤構築の案件移管におけるマネジメント 富岡重光 (日立製作所)	2510 金融機関向け営業店システムにおけるインフラ部門が抱える問題と解決への提言 井上明彦 (富士通アドバンスシステムズ)	2610 不採算プロジェクトの発生抑止に成功した組織へのヒアリング調査報告 海堀修 (NECソリューションイノベータ)	2710 サラリーマンPMは大学生から何を学んだか 櫻澤智志 (日本アイ・ビー・エムデジタルサービス)	2810 ソフトウェア開発の心理的安全性と組織風土についての考察 平井直樹 (立教大学)	2910 プロジェクトマネジメント学会におけるアジャイル開発に関連した研究発表の傾向 木村良一 (筑波大学 (研究委員会))
2111 ERP システム運用体制構築における課題解決のアプローチ ~協業と人材活用システムの運用の実現~ 徳永成朋 (富士通ITマネジメントパートナー)	2211 メタバース空間のアジャイル開発におけるハイブリッドワーク下でのマネジメント実践 千葉淳 (日本電気)	2311 リメディアル教育手法によるIT人材育成に向けたプログラミング教育の考察 奥村真也 (TDCソフト)	2411 ソフトウェア品質「見える化」のためのチャートを工夫した事例 中村知久 (日本電気)	2511 オンプレミスからクラウドへシステム移行するプロジェクトで捉えるべきリスクの考察 畠俊一 (クレスコ)	2611 行動科学の観点から取り組むトラブル未然防止 鈴木健一 (NTTデータ)	2711 女性プロジェクトマネージャーを増やす活動と今後 小野久子 (キンドリルジャパン)	2811 上流工程における規模変動管理の活用と有用性 磯本憲一 (日立製作所)		
12:40-13:20	休憩								
13:20-14:20	【Key Note 3 / キーノート3】会場: 凜 (本館地下2階) 金融ビジネスのトレンドと日立の取り組み 豊川 聡 (株式会社日立製作所 金融ビジネスユニット 第一金融事業部 事業主管)								
14:20-14:40	休憩								
	酒井 理江 (日本電気)	富澤 幸子 (日立システムズパワーサービス)	山崎 晃 (千葉工業大学)	菅原 康友 (NTTデータ)	大石 達哉 (富士通ラーニングメディア)	山本 昭典 (日立ソリューションズ・クリエイト)	下田 篤 (千葉工業大学)	櫻澤 智志 (日本IBMデジタルサービス)	阿部 容子 (富士通)
14:40-16:20	2112 変動リスクの高い複数プロジェクトの同時遂行におけるマネジメント事例 北岡幸子 (NECソリューションイノベータ)	2212 品質保証教育における「作法指導」から「思考指導」へのシフト 角正樹 (NTTデータユニバーシティ)	2312 PMカアップ施策の取組について 秋本孝行 (NECソリューションイノベータ)	2412 段階的システム導入におけるテスト効率化の実践事例とプロジェクト計画作成時の考慮点の提案 永嶋啓章 (日本アイ・ビー・エム)	2512 グローバルプロジェクトチームにおける認知メカニズムについての一考察 山田千晶 (筑波大学大学院)	2612 Project Management Officeの価値向上に関する考察 石原寛紀 (日本アイ・ビー・エム)	2712 プロジェクト/プログラム (組織) から見たモチベーションマネジメント手法の考察 緒方昭彦 (日立製作所)	2812 テレワークにおけるコラボレーションツールを利用したPJ運営の改善事例 長谷川慶武 (日本電気)	2912 速報用RFPインスペクションの開発と適用 谷寿人 (日立ソリューションズ)
	2113 マルチベンダプロジェクトにおける管理強化ポイント 横尾公一郎 (日立製作所)	2213 大規模・アジャイル開発におけるプロジェクト運営の課題と対策~1人1人が自ら考え・率先して改善し続ける文化の定着に向けて~ 坂直樹 (日本電気)	2313 気づきに着目したPM育成の一考察 辻川直輝 (NTTデータカスタマサービス)	2413 QMS内部監査におけるオープンクエスチョンシートの活用 楠森賢佑 (NTTデータ)	2513 グローバルメンバーを活用したShared Service提供のためのチームマネージメント 田島千冬 (キンドリルジャパン)	2613 チームビルディングにおけるメンバーシップの形成 二村公英 (日立製作所)	2713 クラウドネイティブ開発に対応するための体制や仕組みづくりに関する施策と効果 杉本裕介 (日本電気)	2813 経営データを用いたプロジェクトの利益予測に関する考察 前田紗矢香 (日立ソリューションズ・クリエイト)	2913 仕事上のコンフリクトへの対処と転職経験の関連 三好きよみ (東京都立産業技術大学院大学)
	2114 大規模プロジェクトの運用設計におけるプロジェクトスケジュール変更による影響と対応 古川夏帆 (日本アイ・ビー・エム)	2214 Sprintごとの不具合状況推移に着目した品質管理手法の適用事例 射場千尋 (日立製作所)	2314 プロジェクト振り返り方法の改善による有効な再発防止策の全社展開について 宮島賢悟 (日立社会情報サービス)	2414 レガシーシステムにおける開発効率化と品質確保の取り組み 宮口裕基 (日本電気通信システム)	2514 フォーカス・グループ技法を用いた要求事項収集のアプローチ 吉津充晃 (日本アイ・ビー・エム)	2614 システム開発のアジリティ向上に関する考察 佐藤尚友 (NTTデータ ビジネスシステムズ)	2714 リモートワークでもチームの結束力は醸成できるか 佐藤雅子 (日本アイ・ビー・エムデジタルサービス)	2814 テストベッド整備とハッカソン参加による知の創出 安河内静 (NTTデータ)	2914 システムの広範囲にわたる機能点検手法の実践 伊藤智信 (富士通バンキングソリューションズ)
	2115 規模では語れない! 健全なプロジェクトの遂行に必要な基本資源について 豊島直樹 (SOMP0システムズ)	2215 アジャイル開発における品質管理 石川研吾 (NECソリューションイノベータ)  発表中止	2315 ビジネスモデル変革挑戦プロジェクトにおける超生産性の実現 田中良治 (ソルバック)	2415 建設工事部門における作業品質改善活動の一事例 小形絵里子 (NTTデータ先端技術)	2515 戦史にみるチーム能力の過大評価の考察 松岡勲 (NTTデータ)	2615 人間の動作パターンをもとにしたリーダーに必要な行動の考察 橋爪裕介 (日本電気)	2715 多様な働き方社会における帰属意識の醸成に関する一考察 西山美恵子 (クレスコ)	2815 パッケージ・サービス拡張におけるステークホルダーマネジメント手法の検討 北川圭介 (日立社会情報サービス)	2915 顧客交渉の実践 今村勝久 (日立ソリューションズ)
2116 システムインフラ構築におけるAgile & Waterfall活用手法 吉岡直紀 (キンドリルジャパン)	2216 AI搭載システムの品質確保に向けた取り組み 今谷恵理 (日立製作所)			2516 SE-営業の垣根を超えたチームビルディングへの挑戦 二ノ宮朝子 (NECネクサソリューションズ)	2616 プロジェクトマネージャーのためのDXリスクの考察 金子英一 (コムテュア)	2716 グローバル組織における先進技術活用のための指標値モニタリング基盤の構築事例 藤澤朝香 (NTTデータ)			